

『不戦の誓い……あらたに！』 12月8日 行動！

日本がアジア・太平洋戦争を開始した日から75年！



■ 水戸市内で！

茨城県母親大会連絡会などを中心に10人余が参加！

安保関連法（戦争法）を強行した安倍政権への批判を訴えるとともに、「駆け付け警護」で派遣された自衛隊員が戦闘に巻き込まれる危険も訴え、復刻した召集令状（「赤紙」）を次々に通行人に配布しました。同時に行った核兵器の廃絶を求める署名には、寒風の中、何人もの方が足を止め、応じてくれました。

■ 友部駅頭で！不戦市民の会・友部平和の会・新日本婦人の会・茨城県母親大会連絡会笠間支部が合同でチラシ・小冊子を配布！

早朝7時から1時間、友部駅頭において、不戦市民の会・友部平和の会・新日本婦人の会・県母親大会連絡会笠間支部合同のチラシ・小冊子配布行動を行いました。

復刻した召集令状（「赤紙」）100枚、不戦市民の会作製の「自民党憲法改正草案と現憲法を比較した小冊子」200部を、9名で分担し、朝の通勤・通学者への手配りを行いました。

ある中年男性は、赤紙をしげしげ見つめながら「こういうものだったのか。召集令状をもらう世の中に、決してしてはいけない。」などの感想を寄せていました。

同時に行った核兵器の廃絶を求める署名には、高校生などが応じてくれました。



【友部駅頭での早朝行動】

「東海第二原発廃炉」 大型ポスター120枚！

20人の仲間が、東海村内60ヶ所に貼り出す！

11月30日（水）、東海村平和委員会が中心になり、平和委員会の県北グループが集結して、「東海第二原発廃炉」の大型ポスター120枚（立て看板1枚に横2枚貼り）を、東海村内60ヶ所に貼り出しました。当日は日立、那珂、北茨城、大宮、太田、ひたちなかなど、県北地域から20人ほどが参加しました。

【早朝の9時に集合、ベニヤ板を、ネジ釘で角柱に打ち込み、立て看板を組み立て】



■ 平和委員会・県北グループと県北地域の人たちとが協力・共同で実現！

■ 軽トラ3台に看板を積み込み、東海村内へ勇躍して貼り出す！

■ 許せない！！ 20年延長をシャカリキになって突き進む日本原電！

■ 20年延長の提出時期に、「県知事選挙」と「東海村村長選挙」が同時に

■ 年明けから、東海村内で、宣伝カーでの宣伝・署名を絶え間なくやろう！

反戦・非戦を誓う集い

平和の会しもつま



12月11日（日）午後、「ピアスパークしもつま」にて、3本立て企画で「反戦・非戦を誓う集い」を行いました。①ミニ講演、②うた、③リレートークの3本立てです。

- ① 講師は海老沢文範さん（県平和委員会事務局次長）。「安倍内閣と憲法をめぐる動き」とのタイトルで、熱く・丁寧に解説していただき、特に安倍暴走政権を支配する「日本会議」など右翼の思想や歴史、組織などがよくわかりました。また、「国民を守る」憲法を、「国民を縛る」憲法に変える自民党の「憲法改正草案」の恐ろしさを実感として受け止めました。講演時間が45分と短く、「闘いの展望」にまで話が十分届かなかったこと、お詫びをしなければなりません。
- ② 「鹿嶋うたごえ」の3名をお迎えし、身も心も軽快さに欠ける会員たちに「うた」で活力を、の狙いで本会2日目の企画。「しもつま歌声喫茶」で活動している方も加わって前回より盛り上がったか、という出来具合でした。
- ③ 当日参加者の中から2名、会員から3名計5名がそれぞれの思いを発信してくれました。なるべく多くの方の声を聴く、というのがこの会のポリシーです。

今回の参加者は26名で大きな集会とは言えませんが、5名のゲストを迎えて、いいお話が聴けて、いい歌を歌って、日頃の思いを語り合えたら、元気になりますよね、間違いなく。これからは小さいけど、味のある（酸味が甘味かぴり辛か）集まりを持ちたいと思っています。

（平和の会しもつま事務局長 青木勇）

平和新聞

2016年12月15日（木曜日）

2127号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
（郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版

平和新聞茨城版 No. 765
2016.12/15
発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

『平和の心は日本晴れ!』 全1ページで掲載!

平和意見広告 12月10日(土)朝日新聞朝刊11面に!

新聞意見広告は12月10日(土)朝日新聞朝刊11面に、全1ページで掲載されました。平和委員会会員の皆さまを始め、多くの方々のご支援・ご協力ありがとうございます。

意見広告

平和な心は 日本晴れ



W O R

PEACE

「鉄砲とミサイル」で土地をわかれ
開くも戦争をしたジレンマ(伊豆半島のタマケイ)

平和がいいよね 憲法9条

日本国憲法 第9条 戦争の放棄

①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

「戦争法いらぬ」
アジアの人びとは戦前の日本侵略を忘れていません
過去の歴史から学ばない首相は失格です
世界の人はびとは憲法9条を知っています
日本の道は武力によらない国際貢献
自衛隊を戦場に送る安倍内閣 時代錯誤です
世界の平和は憲法9条を広めることです

「原発いらぬ」
福島原発事故の教訓
①原発安全性の神話崩壊
②事故が起きたら手に負えない
③原発がなくても電力は十分足る
原発推進の安倍内閣 利益をむさぼる
電力会社 原発輸出とんでもない
国民にとって大義なし 原発は魔炉あるのみ
かけがえのない命と自然を未来の子供たちのために

「沖縄に基地はいらぬ」
沖縄県民は、独り勝ちにはならぬ
県民が嫌がる辺野古と高江ヘリパッド基地建設
強行突破を図る安倍内閣 沖縄県民に非はありません
権力の横暴は許されぬ 政治の責務です
「すへて」の国民は法の下に平等(憲法14条)です
県民の願いをアメリカと交渉するのが
日本政府の責務です

三つの「いらぬ」私たちの願い

人と人が 殺し合う戦場 自衛隊の南スーダン派遣は許されない

この広告は、多くの団体・個人の皆様方のご賛同によって掲載されました。ご意見・ご感想をお寄せください。
〒310-0912 水戸市親川5-127-281 TEL・FAX 029-251-2806 e-mail:ibahe@amber.plala.or.jp

地域の平和の会、ひざを交えて自治体首長と懇談を!

守谷平和委員会が市長と交渉!

「平和行政」や「自衛隊適齢者名簿」で!

2016年11月22日(火)、午前9時から9時半まで、守谷市役所庁議室で、任期満了を前にした会田守谷市長との対話が行いました。市より会田市長と総務課長、指導室長、秘書課長。守谷平和の会から齊藤さん、丸町さん、嘉藤田さんの役員と平和の会の役員でもある佐藤弘子さん、山田美枝子さんの両議員が出席して対話を進めました

最初に、守谷平和の会の齊藤会長が「今回は間もなく任期満了を迎える会田市長にご挨拶と次期市長に私たちの要望を引き継いでいただくことで時間をいただきました。また守谷市は平成7年に非核・平和都市宣言を決議して21年目になります。その間の平和行政はどうだったか、私たちの平和行進への協力、また平和パネル展での市よりの後援をしていただき、ありがとうございました。」と挨拶しました。要請の内容の詳細については、次号にて記載致します。

石岡平和の会 石岡市長に要請・懇談を行う!

事前に要請書を提出し、回答を受けてから懇談!

石岡平和の会では昨年12月に要請書を提出しました。回答は今年1月に受け取り、懇談を行いました。

1. 平和大使の派遣について
2. 平和資料館の整備について
3. 戦争体験記録集の整備について
4. 8月15日を基軸とした平和に関する催事について
5. 自衛官募集対象者情報の提出について

要請の内容の詳細については、次号にて記載致します。



県北グループで話し合おう!

とき 2016年12月21日(水)
午後 1時30分から

ところ 川崎勝男さん宅
(東海村平和委員会会長)
東海村白方284-1
電話 0292-82-0229

内容 「東海第2原発の再稼働を止めさせ 魔炉に」の取り組みをどのように進めるか。その他

病院が危ない!

茨城県厚生連の経営者は「稼げる病院」が方針!

土浦協同病院など6つの病院を運営する「茨城県厚生連」は、経営が赤字のため、労働組合に「ボーナス 従来の1/4」や「退職金の据え置き」を提案しています。経営者は「稼げる病院」を今後の経営方針の中心に据えると述べています。

今、病院の中では、「医療収益を上げること」が最優先され、十分に患者さんのお世話ができない事に職員は苦しんでいます。職員の離職を防ぎ、住民の皆さんとともに医療を守りたい!という思いで、私たち労働組合は、経営者の提案に反対しています。皆様のご意見をお寄せください。

茨城県厚生連労働組合 (茨厚労)